



令和6年度

事業名 16ミリ映写機操作技術講習	
期 日 ① 令和6年6月22日(土)、②8月8日(木)、③11月23日(土)	
参加者 ① 0名、②5名 ③4名(計9名)	
趣 旨 映写機の使用方法やフィルムの取扱いについての講習を行い、視聴覚教材(16ミリフィルム)の利用促進を図る。	
活動の様子	
【内容①】〈講義・フィルム上映〉「映写機やフィルムをみてみよう」	
社会教育総合センター企画・情報班 城井 希人	
	<p>講義では、映写機の仕組みについてスライド資料を用いて説明しました。また説明の中で「フィルムを痛めないために」を上映し、取扱いの注意点を確認することができました。</p> <p>参加者からは、「映写機の歴史や仕組みについて理解できた。」「16ミリフィルムのもつ温かさを感じることができた。」など、上映を通して視聴覚教材への関心を高めるとともに、良さを実感してもらうことができました。また、映写機についての理解を深めることもできました。</p>
【内容②】〈実習〉「映写機やフィルムにふれてみよう」	
社会教育総合センター企画・情報班	
	<p>実習では、映写機やフィルムの取扱いについて、学んだことを心掛けながら、実際に触れて操作の練習をしました。操作チェックカードで順序を確かめながら操作していくことで、映写機やフィルムを正しく取り扱えるようになりました。</p> <p>また、講習の最後には修了証の交付を行い、希望者に向けたビデオ室の見学も実施しました。それにより、視聴覚教材等への関心や、教材利用への意欲もさらに高めることができました。</p>
参加者の声	
<ul style="list-style-type: none"><li>・全く知らない世界のお話が聞けてとても勉強になった。</li><li>・実際に映写機を使いながら学ぶ機会は非常に少ないため、とてもありがたかった。</li><li>・社会科や、総合的な学習の時間などで、上映や、紹介する機会を設けたい。</li><li>・公民館で上映するのにちょうどよいタイプの映写機のため、子ども会関係者にも伝えていきたい。</li><li>・教育行政と連携して映写会を実施したい。</li><li>・貴重な講習の場なので、今後も継続して開催してほしい。</li></ul>	